

# 健康通信

## 遺伝性大腸がん ～リンチ症候群～



消化器外科部長医師

横山 裕之

### 大腸がんは遺伝するのか

意外と思われるかもしれませんが、大腸がんのほとんどは遺伝することはありません。遺伝性の大腸がんは、大腸がん全体の3〜4%とされています。では、遺伝性大腸がんにはどのようなものがあるのでしょうか。今回は最も頻度の高い『リンチ症候群』という疾患について紹介します。

### リンチ症候群

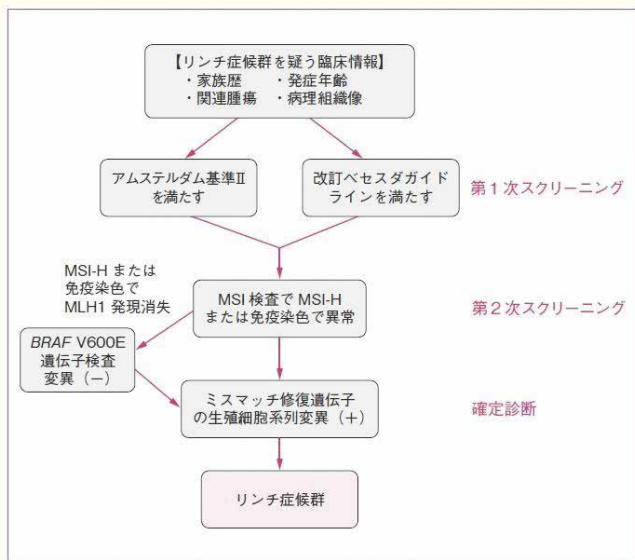
リンチ (Lynch) 症候群は、大腸がんや子宮がん、卵巣がん、小腸

がん、泌尿器系がんになりやすい体質をもった疾患で、報告者の名にちなんでその名がついています。大腸がんの発症の確率が最も高く、生涯で大腸がんになる可能性は50〜70%あるともいわれています。原因は、ミスマッチ修復遺伝子の異常であることが分かっています。この遺伝子はDNAを複製するとき起こるエラーを修復する働きがあり、異常(変異)があると、正常に修復がされずエラーのままとなり、結果的にこれががん化につながります。リンチ症候群は、親から子へ性別に関係なく50%の確率でこの遺伝子が受け継がれ、一般の方よりも若くしてがんを発症し(多くは50歳未満)、一人で複数のがんになることもありませんが、必ずがんになるというわけではありません。

腸がんとなった患者さんには、リンチ症候群の可能性がないか家族歴を聴取します。疑わしい場合に二次スクリーニングの検査を行い、最終的な確定診断のために遺伝子検査を行います。遺伝子検査を受ける場合には、病気や検査に対する十分な理解と同意のために必ず遺伝カウンセリングを受ける必要があります。

### 治療と予防

がんと診断された場合は、通常のがんと同じように治療をします。またリンチ症候群の方もしくは疑わしい方には検診が重要で、大腸がんは大腸内視鏡検査を20歳以降1年に1回、その他のがんも30歳以降1年に1回検診を行うことが推奨されています。



リンチ症候群の診断手順  
マイクロサテライト不安定性 (microsatellite instability : MSI), 高頻度 MSI (high-frequency MSI : MSI-H)

### 最後に

遺伝性大腸がんは大腸がんの数%といえども、その数は決して少なくありません。遺伝性大腸がんが心配な場合には、担当の先生や当院のがん相談支援センターで相談をしてみてください。

### 参考文献

遺伝性大腸癌診療ガイドライン  
2016年版…金原出版

